

『ガウディさんとドラゴンの街』

パウ・エストラダ/作 宇野 和美/訳
教育評論社

サグラダ・ファミリアの建設で有名な建築家ガウディさんの、とある一日を描いた作品です。彼の頭の中はたくさんのアイデアでいっぱい。今日もドラゴンの像に挨拶すると、元気よくバルセロナの街に歩みだします。ガウディさんの職場をめぐっていると、まるでバルセロナを観光しているよう！
スペインの文化に触れてみたい方におすすめです。

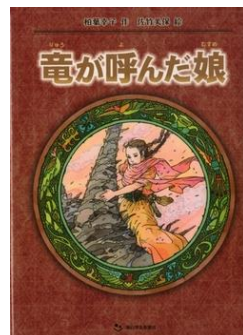


『竜が呼んだ娘』

柏葉 幸子/作
朝日学生新聞社

10歳のミアは、竜に選ばれ、崖に囲まれた村から出て、王宮で暮らすことになります。仕えることになった竜騎兵のウズは、魔女の呪いで姿を消されて声しか聞こえません。ウズの願いで、ミアは竜のって王宮の外に出ることに。内気だけど時に大胆なミアの冒険が始まります。

最後まで驚きの展開が待っています。挿絵が豊富なので、長いお話が苦手な人も読んでみてね。



『黒紙の魔術師と白銀の龍』

鳥美山 貴子/著
講談社

悠馬が山で捕まえた大きな黒トカゲは、いつの間にか折紙になっていた。しかし折紙は真夜中に再び黒トカゲに変身し、意思を持って動き出す。不気味に思った悠馬が黒トカゲを折紙教室の先生に預けると、先生は行方不明になってしまう。悠馬は折紙が得意な啓図と共に、先生を探しに行くが…。

命を吹き込まれた折紙と子供達との時代を超えた冒険物語。

図書館おすすめブックリスト

2024年5月発行
編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで フル充電!!

No.25 竜のでてくる本



『もっかい！』

エミリー・グラヴェット/さく 福本 友美子/やく
フレーベル館

おやすみ前に、お気に入りの絵本を読み聞かせてもらう小さなドラゴンのセドリック。同じお話を何度も「もっかい！」とおねだりします。でもお母さんドラゴンはだんだんねむくなり、お話はどんどん変わっていってしまいます。怒ったセドリックが火をふくと、なんと本当に絵本に穴が開いちゃった!?

遊び心いっぱいのしかけ絵本です。



『りゅうのぼうや』

富安 陽子/作 早川 純子/絵
佼成出版社

満月の夜に生まれた竜のぼうやは、母さん竜に見守られながら、空を飛ぶ練習を始めます。ある日、明かりに誘われて、うっかり遠くの町までやってきてしまった竜のぼうやは、くたびれてへとへとなり、帰れなくなってしまいました。

迫力ある母さん竜の表情や、愛情に満ちた優しさ、グッと引き込まれるお話です。



『りゅうじんさまは歯がいたい』

関屋 敏隆/さく・え
ポプラ社



医者になったかっぱの伝助がふるさとに戻ると、日照りが続き川がなくなっていた。雨を降らせてくれる龍神様に会いに行くと、なんと虫歯が6つもあってとっても痛そう。みんなで秘薬「ごんごーる」を塗って助けよう！

ダイナミックな切り絵と、一緒に口ずさみたくなるリズムカルなかっぱたちの歌に、読んでいて明るい気持ちになります。



『とうさんはタツノオトシゴ』

エリック・カール/さく さの ようこ/やく
偕成社

タツノオトシゴのお父さんは子育てに奮闘中！その中で、トビウオ、アメリカナマズといった、お父さんが子育てをする数少ない魚たちと出会います。

生き物の生態がわかるとともに、様々な魚たちが色鮮やかに描かれています。フィルムシートのしかけの中には、危険な生き物や姿を隠している生き物がいたりして、めくるのも楽しいです。



『とびらのむこうにドラゴンなんびき？』

ヴァージニア・カール/作・絵 松井 るり子/訳
徳間書店

森に遊びに出かけた13人のお姫さま。いちばん末のガンヒルダは一匹のドラゴンと出会い仲良くなります。みんなでこっそり飼おうと、お城に連れて帰りますが、ドラゴンはどんどん大きくなって…。

緑と赤の鮮やかな色合いに引き付けられる絵本です。お話もユニークな展開で最後まで目が離せません。



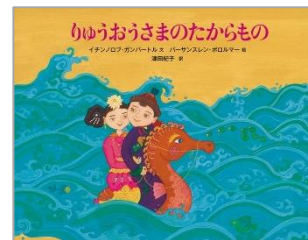
『フランクリンの空とぶ本やさん』

ジェン・キャンベル/ぶん ケイティ・ハーネット/え
横山 和江/やく
BL 出版



本が大好きなドラゴンのフランクリンは、動物たちだけでなく、まちの人たちにも本を読んであげたいと思います。けれど、まちの人たちは、フランクリンの姿を見ると怖がって逃げてしまいました。フランクリンはルナという女の子と仲良くなり、みんなに本を読んでもらうための計画をねり始めます。

誰かと本についておしゃべりする楽しさが伝わる絵本です。



『りゅうおうさまのたからもの』

イチノブ・ガンバートル/文
バーサンスレン・ボロルマー/絵 津田 紀子/訳
福音館書店

むかし、モンゴルの草原に二人の兄弟が住んでいました。ある日、美しい魚を助けた弟は竜王に招かれ、ほうびに金の箱をもらいます。その箱を枕にすると水が湧き出て、草原が豊かになりますが、決して開けるなといわれた箱を兄が開けてしまうと、水は枯れてしまいました。弟は再び竜王に会いにいけますが…。

繊細でユーモラスな絵が魅力的な、アジアの昔話です。